

**製品名: Med8 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13780**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ELISA   |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量  | 29kDa                                |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | MED8  |
| 別名           | MED8; Mediator of RNA polymerase II transcription subunit 8; Activator-recruited cofactor 32 kDa component; ARC32; Mediator complex subunit 8 |
| 遺伝子 ID       | 112950.0  |
| SwissProt ID | Q96G25  |
| 免疫原          | Med8 由来の合成ペプチド。AA 範囲: 70-150  |

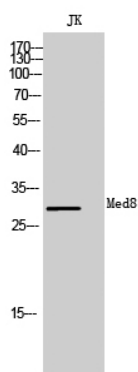
**背景**

この遺伝子は、RNA ポリメラーゼ II および遺伝子特異的転写因子との相互作用を通じて転写活性化を助けるメディエーター複合体の

タンパク質成分をコードしています。コードされているタンパク質は、ユビキチンライゲーションおよびタンパク質分解にも機能する可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2013年1月]、ドメイン：エロンギン BC 複合体結合ドメインは、コンセンサス[APST]-L-x(3)-C-x(3)-[AILV]を持つ BC ボックスとしても知られています。機能：メディエーター複合体の成分であり、ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写制御に関与するコアアクチベーターです。メディエーターは、遺伝子特異的制御タンパク質から基本的な RNA ポリメラーゼ II 転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能します。メディエーターは、調節タンパク質との直接的な相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般転写因子との機能的な開始前複合体の組み立ての足場として機能します。E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体における標的リクルートメントサブユニットとして、標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解に関与する可能性があります。経路：タンパク質修飾;タンパク質のユビキチン化。類似性：メディエーター複合体サブユニット 8 ファミリーに属します。サブユニット：メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、CDC2L6/CDK11 で構成されています。MED12、MED13、CCNC、CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成します。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の補助活性が低い。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の標本は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれている。エロンギン BC 複合体 (TCEB1 および TCEB2)、CUL2、RBX1 とともに、多サブユニット E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の一部である可能性がある。

## 研究分野

## 画像データ



1: 500 に希釈した Med8 ポリクローナル抗体を使用した JK 細胞のウエスタン ブロット分析。